

立正大学図書館所蔵・河口慧海文庫

雪山え日

いまやみ白ふ初日のかけるとい
皇玉のはこのいかりとそとふ

河口



二〇一二年 十一月一日（木）〜十一月十二日（月）

立正大学大崎学術情報サービス課

立正大学OB竹内洋岳さん14座登頂記念 ミニブース併設



立正大学図書館所蔵・河口慧海文庫

大崎図書館には慧海がチベットより持ち帰った資料の一部が寄贈されています。今回は、竹内氏の 14 座登頂を記念して当館所蔵の河口慧海文庫を展示、併せて、竹内氏の足跡をご紹介します。



河口慧海(かわぐち・えかい)

慶応2年(1866)、堺(現、大阪府堺市)に生まれた黄檗宗の僧・河口慧海は、明治30年(1897)、仏教の原典を求め、単独、徒歩で、過酷なヒマラヤ山脈を越え、嚴重な鎖国政策をとるチベットに入国する。チベットに入国した日本人としては河口慧海が最初である。帰国後、日本におけるチベット学を構築した。

展示資料リスト

1. Tibet and Lhasa
2. An account of an embassy to the court of the Teshoo Lama in Tibet
3. 黄檗版大蔵経
4. Saddharmapuṇḍarīka
5. Journey to Lhasa and central Tibet
6. sGra'i bstan bcos sum cu pa'i tshig don gsal ba'i me long
7. 河口慧海短冊
8. 'Phags pa shes rab kyi pha rol tu phyin pa brgyad stong pa
9. Gaṇḍa-vyūha
10. Trans-Himalaya
11. 河口慧海—日本最初のチベット入国者
12. 文化交流



ほか

竹内洋岳(たけうち・ひろたか)

立正大学OB 竹内洋岳さん 14 座登頂記念 ミニブース併設



撮影：中島ケンロウ

1971年、東京都生まれ。立正大学卒。株式会社ICI石井スポーツ所属プロフェッショナルマウンテンクライマー。登山好きな祖父の影響で幼少より登山とスキーに親しむ。高校、大学で山岳部に所属し登山の経験を積み、20歳で初めてヒマラヤの8000m峰での登山を経験。2012年5月、ダウラギリI峰に登頂し、日本人として初めて8000m峰14座の完登を達成する。